



東京都福祉サービス第三者評価

# 評価結果報告書

てくてく保育園

令和2年3月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

## ◆ 第三者評価実施概要 ◆

福祉サービス種別 東京都認可保育所

事業所名 てくてく保育園

事業所住所 〒145-0061 東京都大田区石川町 1-1-18  
東京工業大学国際交流会館本館内(1階)

評価実施期間 令和1年10月1日 ~ 3月18日

評価機関 特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

評価者 修了者No.  
H1201050・H0401031・H1601079

### 評価手法

#### 【利用者調査／利用者家族アンケート方式】

- ・全園児の保護者（12家族）に対して、保育園サービス利用者調査として調査票を園から配布し、記入後の回答用紙を保護者より評価機関に直接返送してもらった。

#### 【事業評価】

- ・経営層合議による自己評価の実施
- ・職員個別回答による自己評価の実施（職員個々で記入後、評価機関に直接返送してもらった）
- ・訪問調査／利用者調査および自己評価の集計・分析に関する説明  
経営層へのヒアリングおよび標準項目の確認  
書類調査

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 安全で安心できる保育</li> <li>2) 地域に根ざした園づくり</li> <li>3) 園と保護者が共に子どもの未来を考える</li> <li>4) こどもの自立の芽を育てる</li> <li>5) 受けとめる保育・支える保育・待つ保育</li> </ol>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割 国際色豊かな利用者に対する柔軟な保育の対応、少人数の体制で保育を行うことにとっても必要なチームワーク</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感) 地域の保育事業の他、事業所内保育所の特性をよく理解し丁寧に保育をすること</p>

調査対象

園児12名の保護者12世帯を対象に調査を実施し、10世帯から回答がありました。

調査方法

調査はアンケート方式で実施しました。アンケート用紙を、保育園から保護者全員に配布してもらい、返信用封筒にて保護者から直接評価機関宛てに返送する方式をとりました。

利用者総数

12

利用者家族総数（世帯）

12

共通評価項目による調査対象者数

12

共通評価項目による調査の有効回答者数

10

利用者家族総数に対する回答者割合（%）

83.3

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想は「大変満足」が9名（90%）、「満足」が1名（10%）で、保護者全員が満足しています。項目ごとの設問17問の中で、保護者全員が「はい」と答えている設問は「保育所での活動は子どもの心身の発達に役立っているか」「活動は子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「食事」「身近な自然や社会との関わり」「保育時間の変更への対応」「安全対策」「家庭と保育所との間で信頼関係ができていくか」「清掃、整理・整頓」「職員の接遇・態度」「子どもの気持ちを尊重しているか」「保育内容の説明」の11項目です。問7「行事の日程」については、「はい」が80%、「どちらともいえない」が20%となっています。自由意見にも、「安心して預けられる」などの感謝の言葉が複数あり、保護者の満足度は極めて高くなっています。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか 全ての保護者が「はい」と回答しています。自由意見はありませんでした。	10	0	0	0
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか 全ての保護者が「はい」と回答しています。自由意見はありませんでした。	10	0	0	0
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか 全ての保護者が「はい」と回答しています。自由意見はありませんでした。	10	0	0	0

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	10	0	0	0
全ての保護者が「はい」と回答しています。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	10	0	0	0
全ての保護者が「はい」と回答しています。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	10	0	0	0
全ての保護者が「はい」と回答しています。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	8	2	0	0
回答率は「はい」が80%、「どちらともいえない」が20%、「いいえ」「非該当・無回答」はありませんでした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	10	0	0	0
全ての保護者が「はい」と回答しています。自由意見はありませんでした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	10	0	0	0
全ての保護者が「はい」と回答しています。自由意見はありませんでした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	10	0	0	0
全ての保護者が「はい」と回答しています。自由意見はありませんでした。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	9	0	0	1
回答率は「はい」が90%、「非該当・無回答」が10%、「どちらともいえない」「いいえ」はありませんでした。自由意見はありませんでした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	8	0	0	2
回答率は「はい」が80%、「非該当・無回答」が20%、「どちらともいえない」「いいえ」はありませんでした。自由意見はありませんでした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	10	0	0	0
全ての保護者が「はい」と回答しています。自由意見はありませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	9	0	0	1
回答率は「はい」が90%、「非該当・無回答」が10%、「どちらともいえない」「いいえ」はありませんでした。自由意見はありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	10	0	0	0
全ての保護者が「はい」と回答しています。自由意見は、「保育士によって差があることがある」という声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	9	0	0	1
回答率は「はい」が90%、「非該当・無回答」が10%、「どちらともいえない」「いいえ」はありませんでした。自由意見はありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	9	0	0	1
回答率は「はい」が90%、「非該当・無回答」が10%、「どちらともいえない」「いいえ」はありませんでした。自由意見はありませんでした。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評	
	入園のしおりは和文と英文を用意し保育理念や基本方針などを保護者にも周知しています 設置者である東京工業大学の職員や海外から来た研究者、留学生(大学枠)の子どもと区内(地域枠)の子どもを両方受け入れています。そのため、見学パンフレットや入園のしおりは和文と英文の両方を用意し、その中に理念や方針も記載しています。入園前にオリエンテーションを行って説明し同意を頂いて契約をしています。職員に対しては保育室や事務室に保育理念を掲示し、保育業務マニュアルの中にも掲げて、いつでも確認することができます。さらに毎年法人内の正職員と契約職員全員が参加する全体研修で理念や目標について学んでいます。	
	園長の役割として大学との連携に関わる権限・責任範囲についての明示が望まれます 園長は法人の園長会や研修会で役割への理解を深め、職員には職員面談などを通じて園長の役割と責任を伝えています。現状の職務分掌表では管理者の役割や権限に関する記述は抽象度が高く、実務上の課題が明らかになったことから、次年度より職務や権限・責任をより具体的に示すため、園長業務マニュアルを作成しています。しかし本園の園長は他の園と違い、設置者である大学と緊密に連携し、円滑なコミュニケーションを担っています。新しいマニュアル作成に当たっては大学との連携という役割も、附則などで明示することが望まれます。	
	園の重要案件については職員会議やパート会議で話し合い周知しています 園では法人本部(以下本部)決定事項については園長会での報告を受けて職員会議で報告・周知しています。園内案件は園内や地域との関係で発生した重要事項で、昼会議や職員会議で検討し、決定しています。今年度からパート会議等を開いてパート職員にも周知しています。さらに正職員からパート職員へのパイプ役を選んで円滑なコミュニケーションを図っています。園長、本部職員は設置者である東京工業大学(以下大学)の学内保育所運営委員会に年2、3回出席して話し合うとともに日常的に連絡相談を密にして連携しています。	

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 0/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(●●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(●●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>外国人保護者の意向を把握するため英語で説明するなどしています</p> <p>設置者が「東京工業大学内保育所てくてく保育園運営規約」を定めて、施設目的、運営方針、利用定員、利用内容や留意事項などを園長や本部職員と共有しています。2か月に1回の区の施設長会議には必要に応じて大学職員も一緒に参加するなど、緊密に外部情報を共有しています。また、保護者からの要望については、例えば今年度から保育の週案に加えて月案のねらいについても知らせるなど積極的に対応しています。利用者懇談会に参加する外国人の保護者に対しては保育士が英語で説明したり、アンケートにはルビを振るなどの対応をしています。</p> <p>中長期計画などについて法人本部と擦り合わせが望まれます</p> <p>中長期計画については法人本部で策定していますが、園の事業計画を策定するに際してその内容を反映していません。また、園の予算の編成は法人本部で行ない、小口現金は園長が管理しています。毎月、大学に保育運営(保育内容・決算)の報告を行ない、改善すべき点等の指摘を受けることになっています。年度の決算報告書は玄関に掲示公表しています。事業計画の策定については、法人中長期計画及び前年度の園の運営実績、設置主体の大学の意向や園を取り巻く環境分析から導かれた課題を抽出して策定することが望まれます。</p> <p>事業計画書の重要課題について達成目標を明確にすることが望まれます</p> <p>事業報告書と事業計画書がつながっていません。事業報告書には前年度どのような取り組みがされたのか、実践の成果や課題が明示されていません。したがって次年度の事業計画で目指すべき目標や達成すべき到達点が表示されていません。また、事業計画書には当該年度の課題設定や推進方法について具体性が弱く、当該年度に目指すべき目標や達成度合いを測る指標も明確ではありません。事業計画の執行にあたり進捗状況を確認する中間総括などの仕組みも今後の課題です。</p>		



3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ3の講評

**職員が守るべき法・規範・倫理については高い自己評価結果となっています**  
 法人綱領には「為世為人」を掲げています。また、就業規則の服務規律や保育マニュアルには具体的な行動基準や禁止事項が記載されており、年度初めに職員間で読み合わせを行うほか、事務室でいつでも閲覧できます。さらに法人の全体研修で規範や倫理を学びます。昨年の園内研修では虐待を取り上げ、それを通じて法・規範・倫理についての理解を深めました。職員は年度末に自己評価チェックシートを使って振り返りをしていますが、今年度から年度初めにもチェックシートを確認する仕組みに改めました。

**苦情解決制度について、実態に合わせた手引の見直しと周知が望まれます**  
 苦情解決制度については入園のしおりに複数の窓口を掲載していますが、制度そのものについての説明はありません。そのためか、園児数が少ないこともあり開設以来「ご意見箱」への投書はありません。しかし、アンケートや直接口頭で、意見や要望が寄せられています。そうした要望に沿って保護者参観の回数を増やすなど運営の改善に役立っています。また、留学生などの要望・意見にも園長が直接英語で伝えています。入園のしおりに苦情解決制度の説明を掲載することが望まれます。

**園の特色を生かした地域貢献をさらに進めることを期待します**  
 大学キャンパスの国際化の一環として外国人研究者や留学生に対して保育設備を用意する必要から2年前に開設されました。子どもたちも大学生のイベントを見学したり、園の行事に大学理事を招く等しています。地域に対しては子どもの保育士体験や実習生受け入れの体制を整備し、今年度から読み聞かせボランティアを受け入れています。今後、地域での認知度を高めて情報発信力の強化を進め、英語力を生かして外国籍の保護者の相談に応じたり、区の連絡会の行事に参加すること等の独自性を生かした地域貢献を目指しています。

カテゴリ4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 **1/5**

評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇●●●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(○○●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ4の講評		
園では様々なリスクを想定し、研修を行なうなどしています 園では様々なリスクを想定して研修や環境整備などをしていますが、優先順位はつけていません。現在、法人として、あらゆるリスクを洗い出し、優先順位をつけるといった取り組みや、事業が停止するほどの大災害時に、損害を最小限にとどめて復旧活動を速やかに行うための事業継続計画(BCP)の策定について検討を進めています。本部担当職員と園長が擦り合わせを行って、事故や安全関係、感染症対応等のマニュアルについても大幅改定と充実を進めており、本年4月までに全園に周知してスタートすることを目指しています。		
防災対策は大学と一体となって進めています 施設の安全対策については、防犯対策マニュアルや安全対策・危機管理マニュアル、吐しゃ物の処理の仕方などに基づいて、毎年3回の嘔吐研修、1回のAED研修を行い、パートを含むすべての職員が受講しています。また、大学は園が立地している国際交流会館内に自衛防災地区隊を置いています。地区隊は情報・連絡班、消火・工作班、避難・救護班から構成されていますが、それぞれの班に園職員を担当として配属しています。防災訓練については大学と一体となって取り組んでいます。		
入職時の契約書で情報の取り扱いについての職員の同意を得ています 園では情報の取扱いについて、就業規則に定めています。職員は入社時の契約書に情報の取扱いについても同意して署名しています。各書類ファイルは分類に応じて整理保管しており、重要書類は鍵のかかるロッカーで保管しており、外部への持ち出しを禁止しています。パソコンからアクセスする際はIDとパスワードを入力する必要があり、そのアクセス記録は本社担当部署が管理しています。情報の収集・利用・保管・廃棄についての規定を法人で策定していますが職員への周知は不十分です。今後は全職員に対して周知徹底していくことが期待されます。		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 10/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目3</b> 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		<b>評点(0000)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目4</b> 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		<b>評点(0000)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる	<b>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</b>	<b>3/3</b>
----------------	--------------------------	------------

<b>評価項目1</b> 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		<b>評点(000)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

**充実した研修プログラムを開発し、保育人材の育成に務めています**  
 法人統一の職種別の「スキル考課シート」を使って人事考課を行っていますが、園独自に「保育内容等自己評価」を使って、より細かく具体的な保育実践の評価を行っています。評価結果から設定した個人の目標に向けて、法人が提供する階層別・知識・実技・認定の4分野計36講座から必要な科目を選択し、外部研修にも積極的に派遣しています。来年度からパート職員にも目標設定シート作成や法人研修への参加を検討しています。長期的な展望にたったキャリアパス制度は今後の課題となっています。

**休憩や休暇の取得など職員が協力して取得できる仕組みがあります**  
 福利厚生制度については法定福利の制度に加え、会員制福利厚生制度、各種祝い・見舞金制度や長期入院など不労時の所得補償や住宅補助制度などの諸制度があります。また、1日1時間の休憩を必ず確保できるよう職員全員で協力する仕組みが出来ています。園は土日が休みですが、休暇については取得希望を考慮したシフト表を作成しています。職員が任意に決めることのできる特別休暇「記念日休暇」「子どもの行事参加休暇」などの制度もあります。

**少人数保育の特性を生かしたローテーション保育などの工夫が成果を上げています**  
 子どもと保護者に提供する保育サービスは正職員もパート職員も同じ水準が求められています。そのため園ではパート職員とのパイプ役となる職員を任命しました。少人数組織としての特性を生かして、担任を置かず週ごとにペアを変えながら保育にあたるローテーション保育制度をスタートさせました。その結果、職員間の協働・相互理解を深めることができ、休暇の取得などにも効果が見られます。職員会議、パート会議、週案会議、月案会議など多様な会議を実施することで意見交換をこまめに図っています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

少人数の保育園であり、職員も少数であることから一人ひとりの動向が、運営全般に影響します。特に、休暇の取得や引き継ぎ、情報共有などによる問題を緩和することを目標としました。開園当初は担任制を取り、配属先の正職員がパート職員への伝達の窓口でした。制度改正のポイントはローテーション保育の導入とパート職員対応の担当者の選定です。ローテーション保育とは2人1組でペアを組んで保育業務にあたること、ペアは固定せず週替わりで相手を変えながら勤務にあたる仕組みです。その結果、保育士一人ひとりの業務能力や特性、抱えている業務上の課題を全員が共有できるようになりました。またローテーション保育の動きを事務室内の白板に掲示して、一目でわかる様になっています。こうした成果について、法人内の他の保育園でもローテーション保育を取り入れるところが出てきました。パート職員対応担当者の選定は、園長とパート職員のパイプ役として正職員がバラバラに指示を出すことを防ぎ、必要な情報を確実にやり取りをする仕組みです。これにより、指示系統が一元化されました。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

<評語選択の理由>事業報告書には重要課題そのものの記載がありません。したがって、どのような取り組みがなされた結果、ローテーション保育の導入に至ったのか、またパート職員対応の担当者を置くことになったのかが不明です。当然ですが次期事業計画にもこの課題を実行したことについての検証結果が反映されていません。

<目標達成>事業報告書にはローテーション保育やパート職員対応の担当者の活動に関して振り返りの記載がないため、確認できません。

<副次効果・相乗効果>ローテーション保育については職員会議で話し合い、掲示板を作成しており、運用そのものは確認できました。園長の意見では職員間の相互理解と信頼関係が深まったこと、休憩や休暇の取得について全職員が協力し合う体制が出来たこと、全ての保育士が全ての子どもの保育ができる知識と経験が蓄積できたことなどの成果があったとしています。また、パート職員対応の担当者については、必要な情報が確実にやり取りでき、指示系統が一元化できたとしています。

<補足意見>前年度の事業実践から重要課題を導いて振り返りを行い、次年度の(単年度)事業計画書に達成度を判断するための目標(値)を掲げることが大切です。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

本園は0歳から2歳児の少人数保育を実施しています。子どもの発達を踏まえて、2歳児以降に必要な集団保育を経験することが必要と思われる、区立保育園との交流活動を実施しました。子どもたちには区立保育園の3歳児以上の子どもたちとの交流を楽しむようになっていく様子が見られました。また区立保育園の職員にも本園児の成長を見てもらい、発達に関する相談などができる職員間の関係の構築もできました。来年度から3歳以上の幼児を預かる保育所との連携も始まることになっており、スムーズな移行ができるようになっています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

<評語選択の理由>事業報告書にはこの重要課題そのものの記載がありません。地域子育て支援事業の項目に他支援施設との交流、地域交流への参加という記載がありますが、本項目との関係は見受けられず、実施行事一覧にも区立保育園との交流は記載されておらず、重要課題となったのか不明です。したがって実践の検証結果を事業計画に反映することも困難と思われる、事実、2歳児以降に必要な集団保育を区立保育園との交流により経験するといった記載はありませんでした。

<目標達成の状況> 事業計画書には「引き続き子ども子育て新システムの動向を把握し、時代に合った運営をしてゆく」と基本目標に記載されていましたが、区立保育園との交流活動そのものは行われませんでした。

<副次効果・相乗効果>交流を通じて区立保育園の職員にも本園児の成長を見てもらい、発達に関する相談などができ職員間の関係の構築もできたようです。来年度から3歳以上の幼児を専門の保育所との交流・連携を予定しており、卒園後の子どもの進級が確保できることから保護者に安心感を与えられると思われそうです。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリ6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>利用希望者にホームページなどで園の情報を分かりやすく提供しています            利用希望者にはホームページやパンフレットを配布して説明しています。海外からの利用希望者に配慮して大学側からも日本の保育園の特性などを英語で直接丁寧に説明してもらっています。パンフレットには開園時間や間取り図、理念と方針が記載され、園の一日の流れや行事も写真を使って分かりやすく書かれています。</p> <p>利用希望者の特性を考え情報の表記を分かりやすくする工夫をしています            日本語がわからない保護者には英文にしたり、園長が英語で説明したりしています。また園だよりにはルビを振るようになっている、わかりやすいようにイラストや写真を使ってホールなどに掲示しています。職員や留学生などの大学卒の見学希望者については、必要に応じて大学側からも職員が同席し、より詳しく説明してもらっています。</p> <p>保育園の情報は近隣の施設などに提供し、見学希望には随時対応しています            空き情報も含めた園の情報を大田区のホームページに載せています。また、「キラキラ保育士体験」のイベントを企画して、そのチラシを近隣の小学校・中学校・高校やボランティアセンターに設置してもらっています。現在は子どもの数が定員数に達しているため地域卒の募集はしていませんが、欠員が出た場合は随時ホームページにその旨を載せています。地域卒の入園希望者からの問い合わせには随時園長が応じていて、見学希望にも対応しています。</p>	

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>サービスの開始にあたり保護者にきちんと説明し不安やストレスがないようにしています</p> <p>サービスの開始時には重要事項説明書を用いて保育園の基本的な決まりなどを分かりやすく説明しながら、保育方針やサービス内容を理解してもらい同意書に署名してもらっています。また丁寧に日常のお子さんの生活の様子などのヒヤリングを行っています。外国籍の保護者には慣らし保育の必要性をきちんと説明して理解してもらい、慣らし保育はミルクの飲み具合や、離乳食の進み具合などを考慮し子どもの状況を把握しながら、短い時間から始め少しずつ伸ばして平均2週間位を目安に個々に合わせて行っています。</p> <p>サービスに関する説明の時に保護者の意向や子どもの状況を確認して記録しています</p> <p>発育歴、既往症、アレルギーなどを保護者からヒヤリングして、入園時面談シートに記録しています。既往症のある子どもについては、看護師と園長の立ち会いのもと保護者から話を聞いて記録しています。アレルギーの食材の対応や離乳食の進め方に関しては保護者と確認し合い、栄養士とも相談して記録しています。入園時に把握した情報は職員会議にて共有して全職員に周知しています。</p> <p>退園する子どもたちには支援の継続性に配慮しています</p> <p>2歳までの小規模園という特性から退園や転園が多いので、日常の子ども達の様子を随時保護者に伝え不安を軽減しています。退園する子どもも進級する子どもも一緒に「大きくなったねの会」を開催して、日々子ども達が制作したものを綴じてアルバムにして渡しています。退園後も夕涼み会など様々な行事に誘って参加を呼びかけています。今年度、3歳から転園する地域枠の子どものために連携園ができたことで、保護者の安心につながっています。</p>			



サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

12/12

評価項目1  
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3  
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4  
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評	
<p>子どもの心身や生活の状況を統一して記録し、個別の配慮は定期的に見直しています</p> <p>連絡帳で日々の様子を記録しています。また子どもの健康については健康観察票や健康診断の記録に経過を記入しています。その他計画と反省を記入した月案を毎月大学にも提出して確認してもらっています。アセスメントの見直しは毎週昼に会議を行い担任が発表し、例えば外国籍の子どものミルクの飲み方飲ませ方やスプーンの持ち方の違い、オムツの特徴などを共有し今後の対応方法について確認しています。</p> <p>一人ひとりの子どもの様子をふまえ指導計画を作成しています</p> <p>本部作成の全体的な計画をもとに園と子どもたちの特性を考慮して年間指導計画を作成しています。月案は全体と個別なものに分けて月に2回職員会議で作成したり見直しています。週案は活動や環境構成、個別の配慮を考慮して、週に1回保育士が全員参加する職員会議で検討しながら作成しています。全園児に個別の計画を作成して月間指導計画に「配慮すべき事項」の枠を設けて随時記入しています。また日誌にも「家庭との連携」の所で記入できるようにしています。</p> <p>子どもの状況を職員が全員で共有しています</p> <p>指導計画の内容や個人の記録は事務室のパソコンや保育室に置いているタブレットで保育士がいつでも自由に見れるようにしています。現在は特に担任を設けず、職員全員がローテーションですべての子どもを担当しているので、個別の情報は全員で把握するようにしています。お迎えの時間、欠席、変更事項なども携帯のアプリケーションソフトを使って直接保護者から連絡が入るので、いつでも職員間で共有できるようになっています。</p>	

サブカテゴリ-5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重
サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>5/5</b>	
<p>評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<p>評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>

サブカテゴリ-5の講評	
<p>入園時に保護者に個人情報扱いについて説明し、同意書を得ています</p> <p>入園時に、個人情報保護同意書、写真等取り扱いについての協力承諾書を用いて、個人情報の取り扱いについて保護者に説明し、同意を得ています。子どもの写真は園内の掲示やクラス便りなどには用いていますが、パンフレット等外部に出すものには用いないこととしています。大学の敷地内の写真は大学に確認してから掲示しています。職員に対しては、入職時に守秘義務について説明し誓約書を取っています。</p> <p>オムツ替えや着替えは外から見えない所でおこなうなど子どもの羞恥心に配慮しています</p> <p>保育マニュアルに子どもの人権尊重について記載し、職員に周知しています。オムツ替え時や着替え時には衝立を立てたり、棚の陰で行なうなどし、外部から見えないように配慮しています。お漏らしなどの場面では、さりげなく移動して他の子どもの見えない所で処理するなど、子どもの羞恥心にも配慮しています。保育士は、子どもの気持ちに寄り添い、子どもの気持ちを優しく受けとめています。子どもが活動に参加したくないと言った時には近くで別の遊びをし、参加したくなるような声掛けをするなど、子どもの気持ちを尊重しながら柔軟に対応しています。</p> <p>一人ひとりの保護者の価値観や生活習慣を尊重し、保育しています</p> <p>入園時の個人面談で、子どもの生育歴や生育環境、保護者の子育てに関する考え方などを聞き取り、保育に反映しています。特に生活習慣の異なる外国籍の保護者に対しては、面談の時にミルクの飲ませ方やスプーンの持ち方、オムツの替え方など細かな所まで丁寧に聞き取り、保護者の生活習慣を尊重しています。また、宗教色のある行事はおこなわない、宗教食を提供するなどの配慮もしています。なお、虐待防止マニュアルを整備し、外部研修に職員を派遣するなど虐待防止に向けた体制を整えています。</p>	

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		<b>評点(〇〇)</b>	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>各種マニュアルを整備し、職員に周知しています</p> <p>法人作成の保育マニュアル、安全対策・危機管理マニュアル、保健マニュアル、食物アレルギー対応マニュアルがあり、事務室に置き、いつでも確認できるようにしています。マニュアルは入職時に読み合わせをするとともに、毎年度始めに目を通して確認してもらっています。水遊びや嘔吐処理など園の実情と合わないものについては、園独自のマニュアルを作成し、読み合わせをしています。緊急時の対応、朝夕の仕事の流れなどは分かりやすいフローチャートにまとめて事務室に掲示しています。</p> <p>園作成のマニュアルは、感染症流行時等に随時見直しています</p> <p>保育業務マニュアルなどの法人作成のマニュアルは定期的に法人本部で見直しをしています。園作成のマニュアルは、水遊びの前や感染症の流行時などに随時見直しをしています。見直しされていないものもありますので、年度初めのマニュアル確認時などをとらえて定期的に見直す仕組みを作っていくことが期待されます。マニュアルの変更時には会議で読み合わせをしています。パート職員に対してはパート担当の保育士が伝達しています。新しく入職した職員に対しては、職員が組んで一緒に仕事をする中で伝え、理解度を確認しています。</p> <p>職員から出た意見を、マニュアルや業務手順の見直しに反映しています</p> <p>マニュアルが園の実情と合わずマニュアル通りにやるのが難しいなど、職員から意見が上がったときには、職員会議で話し合い、マニュアルや業務手順の見直しをしています。園の構造上、水場が遠いという職員からの意見を基に、嘔吐処理のマニュアルを見直し、園内研修で動きを確認したなどの事例があります。また、外部研修などで得た新しい情報もマニュアル等の見直しに反映しています。年1回の運営委員会や行事後のアンケート等で得た保護者の意見も検討し、行事の見直しなど質の向上に生かしています。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 34/34	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(00000)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input checked="" type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもが生活の流れを理解し、主体的に活動できるよう環境構成を工夫しています</p> <p>職員会議や週案会議で、子どもや保護者の状況について把握し、保育しています。あえてクラス担任は決めず、4人の正職員がローテーションで担当することで、全職員で全園児を見る体制を築いています。保育室は、子どもの動線を考えて環境構成がされていて、毎日の繰り返しの中で子どもが生活の流れを理解し主体的に活動できるように工夫されています。散歩の前には子どもの見える所に帽子を置くなど、視覚的に次の活動が分かるように工夫しています。保育士は、子どものやりたいという気持ちを大切に見守り、声掛けしたり、手助けしたりしています。</p> <p>一人ひとりの子どものバックグラウンドを認め、個々に合わせた対応をしています</p> <p>年齢ごとのクラス編成ですが、活動内容や子どもの発達に合わせてグループ分けしたり、異年齢で活動するなどしています。外国籍の子どもが多く在籍していますが、保育士はどの子どもにも分け隔てなく接し、子どもがお互いを自然に受け入れることができるよう働きかけています。家庭と保育園で言葉が異なるため言葉が出るまでに時間がかかることもありますが、保育士は子どものバックグラウンドを認め、個々の子どもの発達にあわせて支援しています。保育士は大田区子ども家庭センターの研修に行くなどし、研鑽を重ねています。</p> <p>子ども同士のトラブルを想定し、対応方法を月間指導計画に盛り込んでいます</p> <p>園は、けんかなど子ども同士のトラブルも子どもの成長にとって必要ととらえてその瞬間の出来事だけでなく総合的に見るようにし、週案会議や職員会議で話し合い、対応方法を指導計画に盛り込んでいます。けんかなどの場面では、保育士は近くで見守り、手が出るなど危険な時には間に入って止め、一人ひとりの気持ちを汲み取って言葉で伝えるなど、個々に合わせて対応しています。日常的に保護者には普段の子どもたちの様子を保育参観などで見てもらい、トラブルがあってもすぐに状況が理解できるような関係を築くように努めています。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>朝の受け入れ時には、子どもの健康状態を保護者とともに確認しています          家庭での子どもの食事や睡眠、排泄、登園前の体温等を保護者に連絡帳に記載してもらっています。登園後にも保護者に検温してもらっています。朝の受け入れ時には、保育士は子どもの健康状態を観察し、連絡帳を手渡しで受け取り、口頭でも保護者に確認しています。登園時の体温と子どもの様子は健康観察票に記載し、職員間で共有しています。欠席や遅刻等の連絡は電話または専用のアプリケーションソフトを用いています。</p> <p>食事や排泄等は個々の子どもや家庭での状況に合わせて支援しています          トイレトレーニングは、1歳からトイレに座ってみることから始め、園での子どもの姿を伝えて保護者の意向を確認し、無理なく進められるようにしています。離乳食は、子どもの発達状況に合わせて保護者と相談しながら進めています。離乳食の習慣がないなど外国籍の保護者の食習慣の違いにも配慮し、食べたことがある食材の確認だけでなく固さや大きさなど家での状況を丁寧に聞き取り、食材は増やしても刻みは細かくするなど、個々に合わせてきめ細かく対応しています。</p> <p>家庭と密に情報交換し、無理なく園での生活リズムが身につくようにしています          入園直後は、午前に眠くなった子どもは午前睡の時間を取るなど、家庭での生活リズムを尊重しています。保育園での生活に慣れてきたら、保護者に登園時間や授乳時間などについての園の考えを伝え、保護者と連携しながら少しずつ園の生活リズムが身につくようにしています。子どもの状況について保育士間で話し合い、午前に戸外での活動を調整するなど工夫しています。午睡の途中で起きてしまった子どもは、保育士が個別に対応し落ち着いて過ごせるようにしています。降園時には、保護者に連絡帳を手渡しし、一日の様子を伝えています。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが自分で好きな遊びを選び主体的に遊べるよう環境構成しています</p> <p>保育室には子どもの目線に合わせておもちゃが並べられ、子どもが自分で選んで遊ぶことができます。ままごとや机上遊び、パズルなど子どもの発達に合わせておもちゃを入れ替えています。コーナーを設けるなど、落ち着いて遊べるようにしています。0歳児の高月齢の子どもと1歳児と一緒に過ごすなど、子どもの発達や活動に合わせたグループ分けを柔軟にしています。鬼ごっこやかかけっこ、プール遊びやボール遊びなどで子どもが友だちと一緒に遊ぶ経験を積み重ね、友だちと一緒に遊ぶ中で、子どもたちが簡単なルールや順番等を学べるようにしています。</p> <p>様々な表現活動を通して、子どもが自分の気持ちを表現できるようにしています</p> <p>保育士は、子どもの言葉や表情、反応などから子どもの気持ちを汲み取り、言葉にして返し子どもの言葉を引き出しています。絵本の読み聞かせや手遊びを取り入れ、保育士との応答的な関わりの中で言葉に対する感覚を養えるようにしています。リズム遊びや巧技台、マットなどを取り入れ、子どもが身体を動かしながら表現できるようにしています。季節の制作や粘土、フィンガーペインティング、スタンプ遊び、水遊びや寒天遊びなど、様々な表現活動を取り入れています。2歳児の後半には、はさみを使ってみる経験や簡単な折り紙も取り入れています。</p> <p>晴れていれば毎日、地域の公園などへ散歩に出かけています</p> <p>晴れていれば毎日、洗足池公園などの地域の公園へ散歩に出かけています。芝生の斜面で登り降りをしたり、地域の公園で鳥や魚を見たりと、季節や散歩の目的に合わせて散歩コースを選んでいきます。時には大学の構内の散歩もしています。散歩先で、子どもたちはのびのびと身体を動かしたり、季節の自然に触れたりしています。また、地域の親子連れと挨拶や会話を交わしています。園専用のウッドデッキがあり、外気浴を楽しんだり、夏場にはプール遊びをしたりしています。片隅のプランターでは、トマトやピーマン等の季節の野菜を育てる経験もしています。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>季節ごとの行事を通して、子どもに日本の行事や文化を伝えています</p> <p>園では、正月や節分、ひな祭り、子どもの日、七夕、お月見会、勤労感謝の日等の季節の行事を実施しています。季節の制作をして飾るなどし、子どもが行事の雰囲気味わえるよう工夫し、日本の行事や文化を伝えています。子どもの日には好きな遊びを複数用意し、子どもが自由に遊べるようにしています。正月には福笑いやコマ、凧、羽子板などを用いて、子どもに伝統的な遊びを伝えています。勤労感謝の日には、子どもたちが翌年のカレンダーを作り、いつもお世話になっている人に渡しに行っています。</p> <p>日々の積み重ねを行事につなげ、友だちと一緒にやる楽しさを味わえるようにしています</p> <p>保護者参加の行事として、夕涼み会、お散歩遠足、お楽しみ会、「大きくなったねの会」をおこなっています。お楽しみ会では、リズム遊びや歌など日常の取り組みを少しずつ重ねて劇遊びなどにつなげていきます。楽しみながら少しずつ練習できるように日々の保育を工夫し、子どもが友だちと一緒にやる楽しさや行事の雰囲気を楽しめるようにしています。「大きくなったねの会」は、子どもの1年間の成長を皆で喜ぶ会で、子どもが自分で作った花を保護者にプレゼントし、園からは1年間の制作帳を贈っています。</p> <p>行事は、保護者が園の取り組みを理解し、子育てを楽しめるよう工夫しています</p> <p>年度初めに年間行事予定表を配付するとともに、行事ごとに早めにお知らせを配付して出欠を確認し、保護者の参加を呼びかけています。夕涼み会でわたあめ屋の掲示を保護者に描いてきてもらうなど、準備の協力をお願いすることで保護者が行事を理解できるように工夫しています。夕涼み会は、魚釣りやお面作りなど親子で楽しめる企画を用意し、保護者が子育ての楽しみを味わうと共に他のクラスの保護者と交流できるようにしています。お楽しみ会では、職員のハンドベルの演奏に保護者が参加したり、外国籍の保護者が国の音楽を披露するなどしています。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間が長い子どもが安心して過ごせるよう、環境構成を工夫しています</p> <p>月間指導計画には長時間の配慮の項目があり、それに基づき環境構成を工夫しています。保育時間の長い子どもが、夕方に園児数が減ってくるにつれて寂しさを感じることがないように、子どもとスキンシップを多くとって寄り添い、子どもが安心感を感じられるようにしています。横になってゴロゴロすることができるようなコーナーを作り、手作りおもちゃや机上遊びなど落ち着いて遊べるおもちゃを用意しています。子どもが特別感を感じられるよう、子どもの希望するおもちゃを出したり、昼とは違うおもちゃや遊びを提供するなど工夫しています。</p> <p>登降園票を用いるとともに口頭でも引き継ぎをし保護者に確実に伝わるようにしています</p> <p>園児数が減り、0歳児の低月齢の子どもが帰った後は合同で過ごし、異年齢でゆったりと過ごせるようにしています。年上の子どもの遊びを年下の子どもが真似をしたり、年上の子どもが年下の子どもに教えながら一緒にごっこ遊びをすることもあります。4人の正職員がローテーションで順番に入り、保護者とコミュニケーションを取っています。登降園票に子どもの様子を記載するとともに、口頭でも順番の保育士へ引き継ぎをし、保護者に確実に伝わるようにしています。保護者から申し込みがあれば補食も提供しています。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>月1回のお誕生会メニューなど、子どもが食を楽しめるような献立となっています</p> <p>食事は、皆でテーブルを囲み、おしゃべりしながら楽しく食べています。保育士は「おいしいね」などと声をかけ、個々の子どもに応じて、声掛けしたり、食べさせてあげたりしています。子どもが苦手な食材は少しでも食べてみるよう働きかけますが、無理に食べさせることはありません。栄養士は残食を記録し、子どもの食べる様子を見たり月案会議などで喫食状況を把握し、味・大きさ・固さなど年齢にあわせて調整しています。旬の食材を多く使い、季節の行事食のほかお誕生日会メニューを月1回提供し、特別なメニューを楽しめるようにしています。</p> <p>保護者と連携し、食物アレルギーや宗教食にきめ細かく対応しています</p> <p>食物アレルギーのある子どもには、入園時にかかりつけ医が記載した生活管理指導表を保護者に提出してもらい、それに基づき除去食を提供しています。アレルギー面談を年に2回以上実施し、毎月献立表を保護者に確認してもらいサインを得ています。提供時には、専用トレイを用い、栄養士、担任がサインして口頭で確認し、手渡して配膳しています。宗教食にも対応し、スープのエキス等保護者に細かく確認して対応しています。味噌等の調味料についても保護者に確認し、園全体の調味料として用いています。食べ方など食習慣の違いにも対応しています。</p> <p>子どもが食への関心を持てるよう、野菜の栽培等の食育活動をしています</p> <p>年間食育計画を作成し、年齢に応じた食育活動を月1回実施しています。絵本や紙芝居を用いての食育指導、野菜の色あてや野菜スタンプ、空豆やトウモロコシ等の野菜に触れるなどしています。クッキングでは、キノコを裂く等の給食の手伝いや米をといでのおにぎり作り、パンケーキのトッピング等を行っています。プランターで自分で育てた野菜を収穫して食育として用いています。保護者に対しては毎月献立表と給食便りを配付するとともに、サンプルを玄関に置き情報提供しています。</p>		

7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目		
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当		
評価項目7の講評				
<p>子どもの年齢に応じた手洗いなどの保健指導をおこなっています</p> <p>保健計画を作成し、子どもの年齢に応じた保健指導をしています。活動の切れ目には保育士が子どもと一緒に手洗いやうがいをし、子どもが自然に身に付けられるようにしています。朝の登園時には保護者に子どもの手洗いをしてもらったり、手洗いチェッカーを保護者に試してもらったり、保護者に手洗いの大切さを伝えています。散歩時には交通安全やルールについて子どもに声かけをするなど、保育の場面で子どもが危険を理解できるようにしています。保育室の安全点検や散歩先の危険物やゴミの確認などを徹底し、子どもが安全に遊べるようにしています。</p> <p>看護師が中心になって子どもの健康管理をしています</p> <p>常勤の看護師を配置し、子どもの健康管理や環境整備、感染症やケガ・事故防止の取り組みをしていて、保護者の安心につながっています。看護師は毎朝各クラスをラウンドして子どもの健康状態をチェックしています。保育中の体調悪化やケガなどの際には、看護師が子どもの様子を確認して受診の判断をし、保護者に連絡をし、対応について話し合っています。医師の受診にも付き添い診断結果を保護者に伝えています。</p> <p>子どもの健康管理についての園の取り組みを保護者に説明しています</p> <p>入園のしおりに、病気の時の対応や主な感染症とその登園基準等を記載し、入園時に保護者に説明しています。年2回(0歳児は毎月)健康診断、年1回の歯科健診、毎月の身体測定を実施し、保護者に結果を知らせています。保育中に感染症が発症した時には保護者に連絡をし、お迎えが来るまでの間事務室で過ごしています。感染症情報を園内に掲示するほか、専用アプリケーションソフトを用いて情報提供しています。乳幼児突然死症候群(SIDS)については、懇談会で保護者に説明し、全園児5分おきに呼吸チェックし、記録しています。</p>				
8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
	評価	標準項目		
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当		
評価項目8の講評				
<p>大学と連携し、保護者が安心して子育てできるよう支援しています</p> <p>園は、全園児に対してスポット延長保育を行ない、急な延長保育や補食の要請にも可能な限り対応しています。毎日の送迎時には保護者とコミュニケーションを取って子どもの園での様子を伝え、保護者の声を引き出し相談にのっています。日本語でのコミュニケーションが難しい保護者には園長が英語で対応しています。お便りにはルビを振ったり、連絡帳を平仮名や英語で記載するなど配慮しています。大学の担当職員と常にコミュニケーションを取っていて、園で対応できないことは大学が対応し、連携して保護者の子育てを支えています。</p> <p>保育の見える化を図ることで保護者が園の取り組みを理解できるようにしています</p> <p>夕涼み会やお楽しみ会などの保護者参加行事では、保護者も一緒に参加することで行事を楽しめるようにプログラムを工夫し、保護者同士が交流できるようにして、保護者同士の仲が良いです。年2回保護者会を実施して、行事後におこなうなど保護者が参加しやすいような工夫により出席率は非常に高く、ほぼ全員が出席しています。園は、保育の見える化を図っていて、保育室に子どもの作品や行事での子どもの写真を掲示し保護者に伝えています。保護者専用のアプリケーションソフトでは、週案や園便りやクラス便り、行事の様子などを伝えています。</p> <p>連絡帳や個人面談で保護者と子どもの様子について情報共有しています</p> <p>保育士は、毎日連絡帳を用いて子どもの様子について情報交換するとともに、送迎時には保護者と会話をし、保護者と信頼関係が築けるように努めています。保育参観を実施し、保護者が実際の保育を見学できる機会を設けていて、5月の保育参観では給食試食会も実施しています。昨年度までは年2回でしたが、今年度は保護者の要望を受けて1月にも保育参観をおこないました。また、年2回個人面談を実施するほか、必要に応じていつでも面談を設定し、保護者の相談に乗っています。</p>				



9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p><b>子どもたちは積極的に外に出かけ、地域と触れ合っています</b>  晴れていれば毎日、子どもたちは地域の公園などに散歩に出かけています。大学で催されるイベントに出かけ、フレームカーやロボットを見学するなどしています。勤労感謝の日には、子どもたちが作った翌年のカレンダーを大学の学長や理事、園が入居する会館の職員、食材の納入業者などにプレゼントしています。近くのスーパーマーケットにクッキングの材料を買いに出かけ、子どもたちが直接お店の人と言葉を交わしています。</p> <p><b>区立保育園や連携園と子どもたちが交流する機会を作っています</b>  入園式を始めとした園の行事には大学学長や理事が参加し、交流しています。月に1、2回、地域の読み聞かせボランティアが園を訪れ、子どもたちと交流しています。地域担当の区立保育園の園庭開放や行事に子どもたちが参加し、交流しています。今年度、地域の認可園と連携園としての契約を交わし、1月から2歳児が交流を始めていて、集団での生活を体験する機会となっています。今後は交流の機会を増やしていく予定です。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている
タイトル①	大学側とのコミュニケーションが良く取れていて安心して保育に取り組んでいます	
内容①	大学の敷地内にあり毎日園長と大学の保育園担当職員が情報交換したり、行事に理事が出席したり、年に2、3回大学の学内保育所運営委員会に園長と運営本部が出席するなどし、常にコミュニケーションを取っています。大学の防災訓練に参加するなど、防災や安全、衛生面でも密に連携していて、保護者、保育士の安心につながっています。外国籍の保護者には、大学と連携しそれぞれの国の特性にも丁寧に配慮しています。大学と密に連携して安心して子どもを預けられる環境を確保することで、優秀な人材を留め置くという本来の目的も達成されています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル②	積極的に外に出て行くことで、子どもたちだけでなく保育士も様々な学びを得ています	
内容②	園は、地域担当の区立保育園と積極的に交流していて、園庭開放や行事に1・2歳児が参加したり、公開保育に全保育士が交替で参加したりしています。今年度、地域の認可園と連携園としての契約を交わしたことで、2歳児の定期的な交流が始まりました。0歳児から2歳児の定員12名という小規模な保育園であることもあり、他の園の子どもたちとの交流は、同じ年齢の大きな集団を経験する良い機会となっています。また、保育士にとっても、様々なケースを見ることで視野を広げることができ、自己の保育を見直す機会となっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している
タイトル③	一人ひとりの価値観や生活習慣を尊重し、安心して園生活を送れるように支援しています	
内容③	園の保護者には大学の研究者や留学生も多く、様々な国の子どもが在籍しています。保育は日本語でおこなっていますが、日本語でのコミュニケーションが難しい保護者には、園長が英語で対応したり、お便りにルビを振るなど個々に合わせて対応しています。入園時の面談でミルクの飲ませ方やスプーンの持ち方、オムツの替え方など詳細に聞き取り、子育て習慣の違いに配慮しています。日本の行事はしていますが宗教食のある行事はしないなど保護者の文化や価値観を尊重していて、宗教食にも一人ひとりの保護者と相談しながら個別に細やかに対応しています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	手作りおもちゃやコーナー作りなど年齢や発達にあわせた環境構成を工夫していて子ども主体の保育が実践されています
	内容	大学施設の1階という限られた環境の中で子どもが安全に快適にのびのび生活できるように配慮しています。子どもの自由な動線を考えその時々に合わせてパーテーションを変更できるようにしていたり、ボタン付けやおままごとなどの手作りおもちゃをたくさん置いたコーナーを子どもが手に取りやすい低い位置に設けています。またウッドデッキを作り乳児でも安心して外遊びを楽しめるように工夫しています。子どもたちは年齢に応じて自由に遊びを選び、安心して生き生きと園生活を楽しくしています。
2	タイトル	保護者と日々コミュニケーションを取って信頼関係を築くことで、保護者一人ひとりのニーズにきめ細かく対応しています
	内容	保育士は、毎日連絡帳を用いて子どもの様子を情報交換するとともに、朝夕の送迎時には保護者とコミュニケーションを取って保護者の相談に答え、保護者と信頼関係を築くようにしています。保育参観を今年度は3回おこない、保護者が保育の場面を見る機会を作っています。年2回の個人面談のほか、必要に応じて随時面談を設定し、保護者一人ひとりのニーズを把握し、きめ細かい支援につなげています。子どもの日々の様子の写真や製作物を展示したり、週案をアプリケーションソフトに掲載して情報提供するなど、保育の見える化も図っています。
3	タイトル	職員間でコミュニケーションを密にとり、全職員で全園児を見守る体制を作っています
	内容	園は、あえてクラス担任を決めず正職員4人が交替でクラスを担当するローテーション保育を実施しています。毎月の職員会議と毎週の週案会議を行ない、子どもや保護者の状況を密に情報交換し、職員の配置や動きを確認しています。会議に参加できなかったパート職員には担当保育士が伝えています。また、パート会議を定期的に行ない、提案を受け付けています。職員間で密に情報交換することで全職員で全園児を見る体制ができていて、職員のシフトが組みやすくなっただけでなく、複数の目で子どもを見ることができるといった効果も出ています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	情報発信力を高めて、大学と連携をさらに深めつつ、実績と成果を広く社会に周知して行くことが課題です
	内容	園の名称は大学名のテックを取って命名しました。小規模で、開設してまだ日が浅いですが大学との連携・支援のもと異文化交流の拠点となって、幼い子どもの最善の利益(Best Interests of the Child)を核とした多国籍な人の環が育まれてきています。大学の学内保育所運営委員会に出席したり、自衛防災隊に参加するなど緊密な関係を作り上げつつあります。また、ローテーション保育という少人数保育の特性を生かした手法を開発しました。この成果をさらに深めながら地域への情報発信力を高めていくことが今後の課題です。
2	タイトル	事業計画書作成手順を見直し、本部との連携のもと目標設定ができる仕組みづくりが望まれます
	内容	園の事業報告書には事業活動を振り返り、課題を抽出した記載がありません。事業計画遂行上の重要課題や目指すべき目標、達成すべき到達点を反映できていません。また中長期計画や園の予算編成は法人事業部が策定していますが、事業計画にはその内容が反映されていません。設置者である大学への対応については、基本目標は示されていますが、保育事業運営者としてどのように連携・交流し、支援を受けていくのかの記載がありません。今後、施設運営に実効性のある計画の策定に着手することが期待されます。
3	タイトル	パート職員の力をさらに発揮できるよう、情報や処遇の一層の改善が望まれます
	内容	職員の自己調査の結果では評価項目について「わからない」との回答が目立ちました。リスクマネジメント、長期的な人材育成や個人別研修システム、アセスメントやサービス手順の見直しなどの評価項目で顕著です。原因の一つはパート職員と正職員との情報提供の格差、スキル向上の機会の格差にあると思われます。今年度からパート会議を毎月開催して、本部などの重要案件を伝えたり、パートとのパイプ役となる職員を選任するなどの工夫がされていますが、情報共有や教育機会等について一層の改善が求められます。

---

## 福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : [www.yresearch-center.jp/](http://www.yresearch-center.jp/) E-mail : [top@yresearch-center.jp](mailto:top@yresearch-center.jp)



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02

---